

会議録（要点筆記）

会 議 名	令和3年度 第2回米原市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和3年11月25日（木）午後7時00分～午後8時50分
開 催 場 所	市民交流プラザ（ルッチプラザ）2階 研修室
出 席 者	出席者：大谷委員長、谷口（嘉之）委員、富田委員、谷口（絹代）委員、伊藤委員、川崎委員、日置委員、北澤委員、田中委員 事務局：生涯学習課 梶田課長、平山補佐、川村主任、北村主事 欠席者：上田副委員長、塚田委員、金澤委員
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度近畿地区社会教育研究大会（大阪大会）【オンデマンド視聴】</li> <li>・多世代交流型のコミュニティ・スクールについて</li> <li>・これからの取り組みについて</li> </ul>
結 論 （決定した方針等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員としてこれからの取組を考えるために、各小中学校の取組状況と課題やニーズを情報収集し、次回の会議で検討する。（多世代交流の視点も含む。）</li> <li>・広報や情報発信の課題を共有した。</li> </ul>
協議経過・概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開 会 ※過半数以上の委員が出席のため、本会議の成立を報告 （開会時12人中9人）</li> <li>2 課長あいさつ</li> <li>3 話題提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度近畿地区社会教育研究大会（大阪大会）の第1分科会を視聴 テーマ「いま改めて、社会教育委員会議・社会教育委員の役割を考える（奈良県の取組）</li> </ul> </li> <li>4 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代交流型のコミュニティ・スクールをテーマとして、取り組む内容について（意見交換）</li> </ul> </li> </ol> <p>委員長：今回、奈良県の取組事例をご覧いただきました。社会教育委員の立場で、どういう取組をするか現時点では見えてこないのですが、コミュニティ・スクールというのは学校が絡んできますから、米原市全域の学校が今、何をやっているのか、コミュニティ・スクールをするのに補助金を活用して各校で事業が行われています。その内容の一覧表を作ってもらいましたので、事務局から概要説明をお願いします。</p> <p>事務局：小学校（9校）中学校（6校）の活動内容（※新型コロナの影響により延長、中止された事業が多くなっている。＊内容は上半期の計画）</p>

委員長：小中学校のコミュニティ・スクールの事業計画を一覧表に挙げていただきましたので、皆さんの意見を聞きながら、方向性を考えていきたいと思います。

委員：今回、委員として、コミュニティ・スクールに参画していくことを考えるのか、調査をして何かをまとめるという方向で進めていくのかを考えるのでしょうか。

委員長：テーマを多世代型のコミュニティ・スクールに設定しておりますので、社会教育委員として、何に取り組んでいきたいかを広く意見を伺いたい。（今年度でなく、2年任期の期間で考えてください。）

委員：河南中のプランター交流会へ昨年参加しましたが、運営委員も学校の担当の先生も交代されたので、今までの取組がなかなか繋がっていかないと感じています。こんなにいろいろな事をされているのに、広く市民さんに知ってもらい、身近に感じていただけるような取組をするのも、考えられることの一つかと思います。

委員長：それもいいのです。幅広い考えの中で、取組をしていいのです。ただ市民の方で、自分の地域のことは知っているけどほかの地域のことは知らない取組があるので、それを市民に知らせるような資料を作って、ここの地域でこういうことをやっていますよと一覧表にしてみる。これも一つの取組だと思います。

委員：今回、初めて委員に加わっていますので、これまでの経過は、分かりませんが、一つの考えとしては問題のあるところ、課題のあるところをしっかりと聞いて、それを教育委員会（事務局）の方で確認しながら、提示いただければ、課題を解決する方法や取り組んでいく内容などの検討ができると思います。

事務局：本来なら8月から10月頃に現地を見る機会をつくって、現場を知った中で深く議論しようと思っておりましたが、新型コロナの影響で計画されていた活動が、中止や延期になった関係もあり、今一度、情報収集が必要と認識しております。それとコミュニティ・スクールのテーマの継続に関しては、第1回目の会議で次世代から多世代型に着目してみても、というご意見を踏まえ今期のテーマに取り挙げた経緯がありますので、再度ここで共有できればと思います。

委員：初めての参加になりますので、私もまだ、全然つかめないところがあり、ぜひ学校の事業を見させていただいて、コミュニケーションができればと思っておりました。私は柏原区民なので、この小学校、中学校の活動は十分に知っています。

区民に回覧物（新聞）が届きますので、小学校、中学校の情報が入ってきます。先ほど、広く伝えるという話がありましたけど、区民の人は情報は知っているので、ほかにも広げる方法がないかなと思っています。

委員：今の話を聞いて、柏原学区では、それぞれ小中学校から、学区内の人たちには、何か報告（情報）が出ていると思いますが、多分各学校も他の小中学校が何をやっているかいうことはあまり情報がないと思います。そこが一つ課題です。

あと、もう一つ今年の6月に、つくる未来展という市民活動団体の発表・展示を新庁舎のホールで、40団体ぐらいですが、米原市での活動の様子などパネルにしてPR展示をしました。そうした団体の情報なども共有できれば取り組みのヒントになると思います。

委員長：良い意見をありがとうございました。

市民同士や、地域の繋がりができるということで、これも社会教育の一環でございます。

委員：各小学校、中学校については、学区ごとに教育フォーラムを毎年、開催しています。その中で小中幼稚園を含めて、学区の取組を発表していますので、このフォーラムに、社会教育委員が参加してみるのも良いかと思います。教育フォーラムは学校関係者だけでなく青少年育成関係者に呼びかけをして、参加できるようになっていますので、委員として意見も言えるかなと思います。

委員：事務局に確認したいのですが、コミュニティ・スクールの取組は広報誌に載っていますか。やはりPRです。広報活動が何か少し弱いかなと感じています。パネル展っていいなって思うのですが、そうした取組の広報も課題なのではないでしょうか。

事務局：確かに広報でコミュニティ・スクールについて個別の取組の紹介など、取り上げていくのも、一つの良い方法だと思いますし、全体としても情報発信は課題であると認識します。

委員：先ほど、多世代って何だろなってずっと気になったんですよ。次世代にかわって多世代ということ、それに生涯学習との関係も含めて、定義をしっかりと共有しながら、進めて行くといいと思います。

委員長：多世代の捉え方は、次回に上田副委員長に説明いただき、共通確認したいと思います。

委員：コミュニティ・スクールっていうのは、やはり地域の方も参加されるっていうことが前提ですよ。

	<p>委員長：地域の繋がりをつくるために、子どもたちが行われている活動に合わせて、世代間交流を図るのも一つです。</p> <p>委員：河南中に参加させていただいた時に、地域の方の参加が少ないように感じましたので、参加して下さるように、働きをしていくのも課題ですね。</p> <p>委員長：いろんな参加の方法はあります。私の地域では、地域の探検ワークで一緒に付き添いしなくても、家の前に来た時に声をかけてあげるのも参加の一つだという考えを広げています。</p> <p>委員：パネルでの発表のほかにも、その活動があるまでに、市全体に広報活動をするのも大事だと思いますが、地域の方が参加したくなるような、多世代に向け、働きかけをしていくことも必要だと思います。</p> <p>委員：A委員が言われるとおりで、河南中の活動に今年も参加したのですが、プランターを受け取るだけでなく、地域の方をもっと呼んでお花をやる上手な人もいらっしゃるから、その人たちに生徒さんに植え方を教えてもらって交流をしていく、それがコミュニティ・スクールというものではないかと思います。それと、河南小のフォーラムにお声掛けいただいたのですが、平日の午前だと、仕事がある人は行けません。</p> <p>課題としてはこういった活動を、地域の方にもっと知ってもらって、参加してもらえるように何とかしたいです。</p> <p>事務局：委員の皆さんのご意見を聞いておりますと、共通のキーワードや課題がみえてきたように思えます。例えば、広報の発信について今一度考えてみる必要がありますし、学校のニーズを掴み、情報収集したことを会議で共有して、最終的には市民に情報発信していくことが、重要だと改めて思います。</p> <p>委員：今日は、つくる未来展のお話なども聞いて、市内でまちづくり活動をしている方がたくさんおられて、そういった情報を知ることができると、交流するきっかけになるように感じました。</p> <p>委員：B委員にも言っていただいたように、市民活動もいろいろやっておられますが、隣でしていることは知らないのが現状です。どんな人が何をしているか知らないのと、それがもし何かで繋がったら、面白いことが起こるんじゃないかなと期待して、今まで冊子を作ったりもしてきましたが、冊子に作って配布しても、なかなか見てもらえないという状況の中で、皆が興味を持って、そこに他の団体を見てもらえる機会があったらいいなと思っていたので、今年6月に「つくる未来展」を開催しました。（つくる未来</p>
--	---

	<p>展の様子をスライドで紹介)</p> <p>委員長：今日いろいろと良い話が出されたと思います。後半に出ていた話も含め、事務局の方で学校の情報などを整理していただき、任期は2年ありますが来年から動けるように今後進めていきたいと思ひます。</p> <p>事務局：学びあいステーション愛称募集について情報提供を行う。</p>
--	---

会議の公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等： ) <input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等： )
全部記録の有無	会議の全部記録 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無   録音テープ記録 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
担 当 課	生涯学習課 (電話 53-5154、内線 2144)